

III 研究 Q&A

Q1. 「学習課題」とは？	A1. 東京都小学校体育研究会の先行研究を参考にしています。子ども一人一人が「今もっている課題を見いだす力」を働かせて「自ら決めて設定する課題」を指します。
Q2. 「できる・分かる」とは？	A2. 本校では、どちらも児童の実感として捉えています。児童自身が「運動経験を通して動きのレパートリーが増えたり、動きの質が高まったりすること」「自己の学習課題を解決していること」を「できる」と捉えます。また、保健・食育で「知識を得ること」を「分かる」と捉えます。
Q3. 「達成感を伴った楽しさ」とは？	A3. 学習課題をもって取り組み、「できる・分かる」実感を積み重ねながら学習していくことで味わうことのできる楽しさです。これにより「自分はできる。」「できそう！やってみよう！」「友達にも教えてあげよう。」などの肯定的な思いをもち、学習意欲が高まると考えます。

本研究は、児童の体育学習への意欲を十分に引き出し、生涯体育につなげるために、「やってみたい」「できる」「楽しい」を大切に授業改善を目指しています。その過程で、技能習得以外の体育学習の価値にも目を向け、体育科の指導観をとらえ直す機会を得ることができました。皆様から賜りました貴重な御指導・御意見を今後の教育活動に生かし、教職員一同、子どもたちのために一層の研究の充実・発展に努めてまいります。

大田区立田園調布小学校 副校長 三浦 一輝

<御指導いただいた先生方>

- ・江戸川区立船堀小学校長 山下 靖雄 先生
- ・日野市立日野第八小学校長 船山 徹 先生
- ・世田谷区立用賀小学校長 青鹿 和裕 先生
- ・国士舘大学文学部教育学科教授 細越 淳二 先生
- ・帝京大学教育学部教育文化学科教授 高田 彬成先生
- ・大田区教育委員会統括指導主事 志賀 克哉先生
- ・大田区教育委員会指導主事 遠藤 健太先生 江袋 勇樹先生